

兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2024年10月24日発行
 兵庫のに研究所

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は減少しています。海域西部では、小型珪藻のリゾソレニア、キートセロス等が確認されています。窒素は、漁場地先で4~10 μg at/L台、新漁場東部で4~6 μg at/L台、新漁場西部以西の漁場沖筋で概ね2~3 μg at/L台の値となっています。

(水温) 漁場内平均24.0℃ (平年比2.0℃、昨年比1.6℃ともに高い)。(塩分) 平均31.76psu。前回 (32.16) より0.4psu低い。
 (珪藻) 海域全般に、大型珪藻のコシノディスカスは確認されるが、発生量は減少していた。各海域のコシノディスカス発生量 (海水1Lあたり) は、林崎漁場以東で300~700細胞 (前回値: 550~800細胞)、魚住漁場以西で70~300細胞 (前回値: 200~650細胞)であった。魚住漁場以西では、小型珪藻のリゾソレニアと塊状の群体を形成するキートセロス・ソシアリスが確認されており、漁場沖筋での発生量はやや多い状況であった。
 小潮の干潮時での調査ということもあり、漁場地先では陸水の影響がやや強く見られた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	24.8	24.0	22.0	22.4
窒素	4.0	5.0	5.3	4.3
リン	0.64	0.68	0.58	0.72

(10/18)

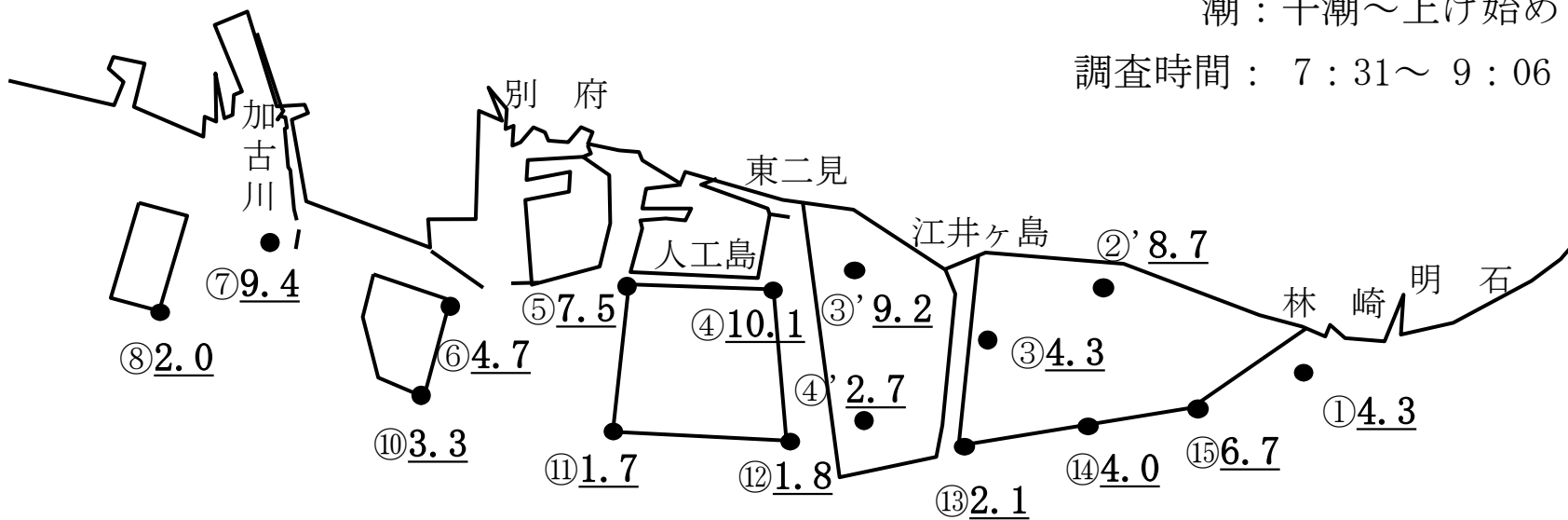
(10/26)

2024年10月24日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：干潮～上げ始め

調査時間：7:31～9:06



水温図

